



2007年度 第3四半期のご報告 2007年4月1日から2007年12月31日まで

BUSINESS REPORT JEM TODAY



JEM 日本電子材料株式会社
証券コード: 6855

〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町二丁目5番13号
<http://www.jem-net.co.jp>

POST CARD 第3四半期の情報は、中面をご覧ください。

TOP MESSAGE

ご挨拶

Mタイプの事業化に向けた投資の継続を

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。2007年度第3四半期を終了しましたので、事業の概況をご報告いたします。

当第3四半期は、メモリーIC市場の供給過剰や競争激化による価格下落が続き、半導体メーカーの投資先送りが行われるなど厳しい状況が続きましたが、既存製品の製品競争力強化と積極的な拡販により計画どおりの売上を達成することができました。しかしながら、新製品であるMタイププローブカードの開発関連費用が増加したこと等により利益面が計画を下回ったため、通期業績予想の利益面を修正いたしました。

厳しい事業環境が続いていますが、中長期的な取り組みであるMタイププローブカードの事業化に向けた積極的な投資は継続し、昨年末に受注を獲得したMAシリーズの拡販と現在開発中のMCシリーズの早期市場投入を目指してまいります。今後とも皆様の暖かいご支援よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長
坂根 英生

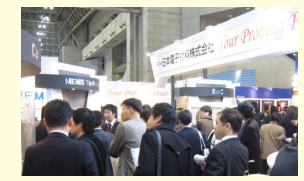
TOPICS

「SEMICON Japan 2007」に出展

半導体製造に関する装置・材料メーカーが集まる国際展示会「SEMICON Japan 2007」が昨年12/5～12/7の3日間、幕張メッセで開催されました。今回の展示会は昨年を上回る来場者数で史上最大規模となり、世界各国の企業が新製品・新技術を展示しました。当社ブースでもプローブカードを展



示。MEMS技術を採用したMAシリーズ、CMOS Sensor向けVEシリーズなど、高性能デバイスに対応した当社のプロービング技術が注目を集めました。



個人投資家向け会社説明会開催

2007年12月、個人投資家向け会社説明会を大阪で開催いたしました。初めて当社の説明会にご参加された投資家の皆様も多く、当社の事業内容についてご理解を深めていただく機会となり、大変有意義なものとなりました。また、ご参加いただいた投資家の皆様にはアンケートにご協力いただき、当社の事業や将来性への期待に多くのご意見をいただきました。

株主の皆様へお知らせ

アンケートにご協力ありがとうございました

今回の株主優待の発送に合わせて、アンケートをお願いしましたところ、たくさんの方からご回答をいただくことができました。ご協力くださいました株主の皆様にご心より感謝申し上げます。なお、アンケートの集計結果は次回「通期JEM TODAY」にてご報告いたします。

JEM TODAYは年4回発行 最新情報をお届けします

JEM TODAYは毎年4回、四半期ごとに発行しております。通期報告・第1四半期報告は3月末現在の株主様へ、中間期報告・第3四半期報告は9月末現在の株主様へお送りしています。

株式関係のお手続きは、お電話、HPにて。

株式関係のお手続き(住所変更・名義書換等)の用紙は、三菱UFJ信託銀行株式の電話またはホームページで24時間ご請求いただけます。

電話: ☎0120-244-479 (本店証券代行部)
☎0120-684-479 (大阪証券代行部)

ホームページ: <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、証券保管振替制度をご利用の方は、お取引口座のある証券会社等にお問い合わせください。



POST CARD 第3四半期の情報は、中面をご覧ください。

2007年度第3四半期のご報告

事業環境

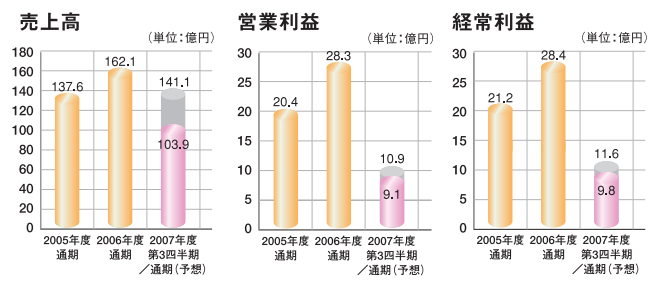
当社グループの主たる事業分野である半導体市場は、半導体デバイスの用途によって好不調が分かれる状況が続きました。ロジックIC市場では、デジタル家電向けなどの半導体デバイスが堅調に推移しましたが、メモリーIC市場では、DRAM(記憶保持動作が必要な随時書き込み読み出しメモリー)やNAND型フラッシュメモリー(電氣的に一括消去・再書き込み可能なメモリー)などの供給過剰や競争激化による価格の下落が続き、半導体メーカーは設備投資の先送りを行うなど厳しい状況で推移しました。

売上高・収益動向

当社グループは、ロジックIC向けには新針材を搭載したカンチレバー型のプロブカード(CEシリーズ)、メモリーIC向けには300ミリウエハー対応のアドバンスドプローブカード(VCシリーズ)を中心に積極的な拡販と顧客の掘り起こしに注力した結果、売上高につきましては計画どおりとなりました。しかしながら、新製品Mタイププローブカードの開発関連費用の増加等により、利益面は若干計画を下回りました。

以上の結果、当第3四半期の売上高は103億9千6百万円(前年同四半期比15.6%減)、営業利益は9億1千5百万円(同61.7%減)、経常利益は9億8千1百万円(同61.0%減)、四半期純利益は3億7千5百万円(同76.0%減)となりました。

業績の概況



業績予想

■業績予想の修正のお知らせ
最近の業績の動向等を踏まえ、2007年8月7日に公表した通期業績予想の利益面について修正いたしました。

2007年度通期業績予想の修正 (2007年4月1日～2008年3月31日) (連結) 単位: 百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想	14,110	1,420	1,460	730
今回修正予想	14,110	1,090	1,160	260

(個別) 単位: 百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想	12,000	890	1,200	780
今回修正予想	12,000	890	1,200	80

■連結業績予想の利益面の修正理由
当社グループでは、MEMS技術を用いたプローブカード「Mタイプ」の事業化を進めており、昨年4月にMタイプ用プローブユニットの開発・製造を担う連結子会社JEMファインテック株式会社を設立し、Mタイプの事業化のために人的および設備等の投資、資金の貸与などを通じて積極的にMタイプの事業化を推進してまいりました。その結果、昨年末には最先端LCD-Dr(液晶駆動用ドライバー)向けのMタイププローブカード(MAシリーズ)の受注を獲得することができました。しかしながらMAシリーズに加え、現在開発中のメモリーIC向けMCシリーズの開発負担が増加する予定であること等により、JEMファインテック株式会社における損益が計画より悪化することが見込まれるため連結業績予想の利益面を修正いたしました。

■個別業績予想の当期純利益の修正理由
本年度のJEMファインテック株式会社の損益が計画より悪化することが見込まれるため、同社への債権に対する貸倒引当金(約5億円)の早期計上、並びに株式の減損処理に加えて、繰延税金資産の再計算による取り崩し等を計上する予定のため個別業績予想の当期純利益を修正いたしました。

なお、配当につきましては、年間1株当たり20円で、今期末配当は1株当たり10円の予定を変更していません。